

# 川上ダム通信

2019  
6  
月号



Vol. 165  
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

## ダムを活用した地域の魅力度アップを目指して！！ ～地域連携PT発足会議を開催～

4月17日（水）、川上ダムを地域活性化に役立てていただくための取り組みとして、伊賀市役所、商工会、観光協会及び水機構の各代表を中心に、その効果的な方策を関係者間で連携して実行する「川上ダム地域連携プロジェクトチーム（以下、「地域連携PT」）の発足会議を開催しました。

地域連携PTでは、地域とダム事業者との協力関係を築き、ダムインフラを地域資源として活かすためのアイデアの創出やその実現の方法を一緒に考え、チーム内で連携してできる行動を積み重ねることで、地域の安全安心を守るダム本来の目的に加えて、地域の皆さんに長く親しまれる魅力あるダムを目指していきます。

会議前には、ダム来訪者に楽しんでいただく例として、ダム完成後のVR（仮想現実）画像の視聴（「WELCOME川上ダム観眺台（みてちょうだい）」にある設置看板のQRコードをスマホで読み込むと現れます。）や、コントローラを使ったショベルカー操作のバーチャル体験（現在準備を進めている観眺台資料館に設置する予定です。）などを紹介しました。



発足会議のようす



ショベルカー操作のバーチャル体験



職員が来訪者にVR画像を紹介しているようす

地域連携によりダムを活用した地域の魅力度アップにつながる取り組みや広報活動など、出来ることから進めてまいります。皆様方のご理解とご支援のほど、宜しくお願いいたします。

【副所長（技術） 中原忠義】

# 新規採用職員紹介

今年4月、当建設所には3人もの新規採用職員が配属されました。

全員20代前半、本体工事が最盛期を迎えるのに併せて、事務所内も一層活気づいております。

以下、令和を担う三本柱による決意表明です。

【気づけば6年目 元ダム通信記者 西澤貴之】



総務課 山口貴大

総務課に配属となった山口貴大と申します。出身は埼玉県です。この機会に三重の料理や文化などたくさんのことを体験してみようと思います。多趣味とよく言われます。最近は節約にハマっています。いかにお金をかけずに満足できる一日を過ごせるのかを考えるのが面白いです。一日でも早く仕事を覚えて、一人前の職員になりたいです。どうぞよろしくお願いします。



工事課 藤澤大志

工事課に配属となった藤澤大志と申します。岐阜県生まれ岐阜県育ちで他県での生活は初めてですが、趣味のバイクで全国各地にツーリングに行くので、他県での楽しみ方には慣れております。ですので、新天地である三重県でも存分に楽しみ尽くしたいと思います。仕事はまだまだ慣れないことが多いですが、いち早く仕事を覚え、川上ダムに貢献できるよう奔走していきます。どうぞよろしくお願いします。



環境課 小山和也

環境課に配属となった小山和也と申します。横浜（神奈川県）出身で三重に来たのは今回が初めてです。仕事を覚えながら、環境課の一員として川上ダム周辺の環境に配慮しながら頑張っていきたいです。やがては技術者として個人のスキルを磨き、職場の仲間たちを慕いながら、言うべきことは言う、そういう立派な社会人になれるよう頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

## 再確認行う余裕に事故はなし みんなでめざそう無災害 ～令和元年度 労働安全重点事項～

4月23日（火）に開催した令和元年度第1回川上ダム安全協議会では、今年度の労働安全重点事項を「再確認行う余裕に事故はなし みんなでめざそう無災害」とすることに決定しました。提案理由は、「作業の開始にあたり、あわてず再確認の後に開始することが無災害につながる」ためです。



安全パトロールのようす

川上ダム建設所では、「事業による労働災害を防止し、業務を安全かつ円滑に推進する」ために、安全協議会を定期的開催しています。その活動内容は、各工事現場に行き危険な箇所や作業員が危険な行動をとっていないか等の確認を行う「安全パトロール」を中心に、労働安全重点事項の設定、季節毎に起きやすい事故の事例報告及び安全に関する討議・情報交換等を行っています。

今後とも安全第一に工事を進められるように、取り組んでまいります。

【工務課 山田聖】

# いざ往かん、忍者の聖地へ！ 伊賀上野NINJAフェスタ！！



5月6日（月）、「伊賀上野NINJAフェスタ」（4月27日から5月6日開催）に参加してきました。伊賀上野城下町は多くの忍者衣装に着替えた人々やワンちゃんにぎわっており、筆者も衣装をレンタルして忍者になりきりました。町には忍者の修行を行える道場があり、道場での成績や市内の名所をめぐることによって、上忍・中忍・下忍の3つのランクに分けられます。筆者は弓矢、忍者パズル、手裏剣、水蜘蛛、行灯火消し、吹き矢の計6つのすべての道場をめぐりました。弓矢の修行では、小さい的に当てるのが難しく3回中1回しか命中しませんでした。手裏剣の修行でも、的にはほとんど当たらなかったのですが、投げ方がキレイだからとオマケで点数を加えていただき、師範の優しさにふれました。修行のみの点数では「中忍」だったので、さらに「上忍」を目指して忍者博物館、伊賀上野城、にんぱくをめぐって修行を積むことで、ようやく上忍になることができました。



忍者になりきった筆者



投げ方を褒められた手裏剣

この結果に満足せず、来年はさらに高い点数で上忍になるために、普段から修行（筋トレ）をしていこうと思います。



上忍級の認定書です！

【総務課 山口貴大】

## 忍者の里でNinja祭り！

5月4日（みどりの日）、川崎重工業（カワサキ）のオートバイ人気シリーズ「Ninja（ニンジャ）」の愛好者が青山に集う「忍者の里でNinja祭り！」が同実行委員会によって開催されました。今年で2回目の開催ということで、会場の青山支所駐車場に全国各地のナンバーを付けたNinja約600台が集結した光景は圧巻でした。青山支所のほか、地元の皆さんも阿保地区住民自治協議会を中心に、出店販売など盛り上げていました。



Ninja（オートバイ）が集結！



地元の皆さんの出店販売



人気商品の缶バッジ



観眺台を訪れたNinja愛好家

Ninja愛好者は老若男女ファン層が幅広く、祭りは賑わっておりました。また、参加者の運転マナーも良く、清々しいイベントでした。当建設所もイベントの準備や「WELCOME川上ダム観眺台（みてちょうだい）」の開放など、Ninja祭りに参加させていただきました。

さらにこの地域を盛り上げてもらえるよう、今後も地域で開催されるイベントに引き続き協力してまいります。

【用地課 伊美彰太】

## ダムの基礎岩盤を改良する基礎処理工が始まりました！

基礎処理工では、岩盤にセメントと水を混ぜたセメントミルクを注入し、基礎岩盤を改良することによってダムの地盤を整備します。これをグラウチングと呼び、総延長約13,000mをボーリング（削孔）して改良します。この基礎処理工を、計画通りに施工できるか確認するための試験施工を実施し、今後本格的な施工に入ります。



岩盤に管を差し込みます。



試験施工箇所



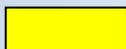
斜面に足場を組み平場を設けて施工します。



削孔してセメントミルクを注入します。

ダムの高さと同じ深さ（84m）まで削孔する箇所もあります。

### ～本体工事の進捗状況～



:完了



:施工中



:未実施

転流工		基礎掘削	基礎処理	堤体打設	試験湛水	完成!
H30.4▼	H30.9▼	H31.4▼	▼現在	▼R元.9	▼R3.10	(R5.3予定)
仮排水路 トンネル	仮締切工					

【工事課 西宏治郎】

### 川上ダム工事現場見学会開催中！

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を絶賛開催中です。詳しくは当建設所HPをご覧ください。

【第7回】令和元年6月16日(日)  
(お問い合わせください！)

【第8回】令和元年7月21日(日)  
(6月3日より募集開始します！)

## イベントのお知らせ

### ほたる祭り

開催日：令和元年6月8日(土)  
開催場所：博要の丘（博要地区市民センター）  
問合せ先：博要地区市民センター  
0595-55-2004  
内容：ミニコンサート  
鑑賞会  
軽食の販売



## 編集後記

平成から新しい元号「令和」の時代が始まりました。就職してはや2ヶ月、上司に見守られながら修行してまいりました。ダム通信の担当となり初めて編集の作業をさせていただきましたが、いかがだったでしょうか？楽しんでいただけましたら嬉しく思います。

さて、梅雨の時期がやってきました。雨の日と晴れの日とでは気温と湿度の変化が大きいので、体に大きな負担がかかってしまうかもしれません。衣服や室温の管理をして体調をくずさないようにしていきましょう。また、こまめな水分補給を心がけ、熱中症にも気をつけていきましょう。

### 【広報誌発行事務局】

編集長	瀨上	(所長)		
デスク	大西	(総務課長)	中野	(工務課長)
記者	山口	(総務課)	西岡	(用地課)
	子川	(調査設計課)	小山	(環境課)
	藤澤	(工事課)	後	(機械課)
	山田	(工務課)		